三宅島における地磁気全磁力*

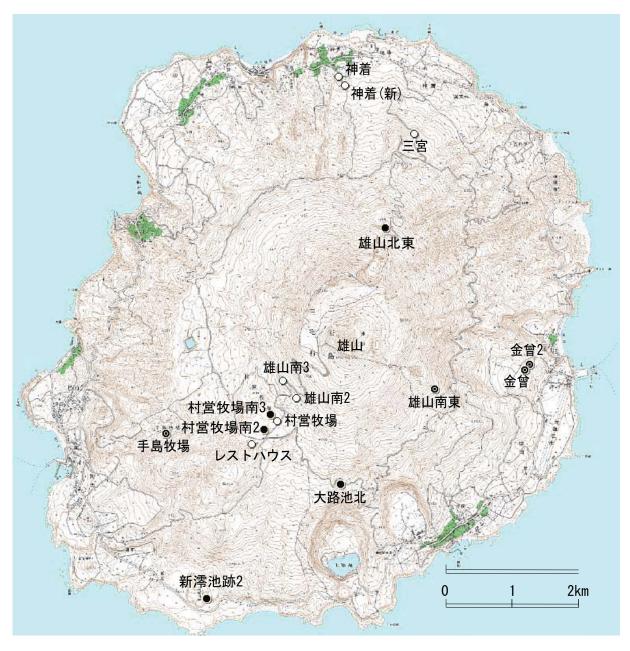
Geomagnetic Total Intensity at Miyakejima Volcano

気象庁地磁気観測所

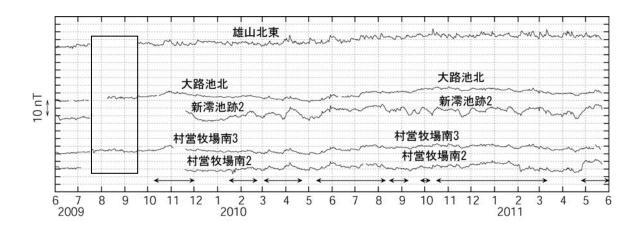
Kakioka Magnetic Observatory, JMA 東京大学地震研究所 Earthquake Research Institute, The University of Tokyo 気象庁地震火山部火山震火山監視・情報センター Volcanic Observations and Information Center, Volcanological Division, JMA

三宅島における 2011 年 2 月から 2011 年 5 月までの地磁気全磁力変化について報告する。 第1回に、三宅島における全磁力連続観測点の位置を示す。第2回と第3回に、神津島(参照点)の全磁力値を 基準とした三宅島の各観測点の全磁力差を示す。第2回中の両矢印は黒潮の流軸が三宅島に接近している期間で、 海流の影響で新零池跡 2 や村営牧場南 2 などの全磁力が増加したと見られる。三宅島から黒潮の流軸までの距離 は海洋速報(海上保安庁)を参照している。2009 年 7 月 19 日から 2009 年 9 月 17 日は、参照点は雄山北東とし た(第2回及び第3回中に当該期間を□で囲む)。地磁気全磁力変化からは年周変化・黒潮等の影響が見られる が、期間中変化傾向に変わりは見られず、特段有意な変化は観測されなかった。また、2001 年 2 月以降の全磁力

差の変化について、第4図と第5図に示す。

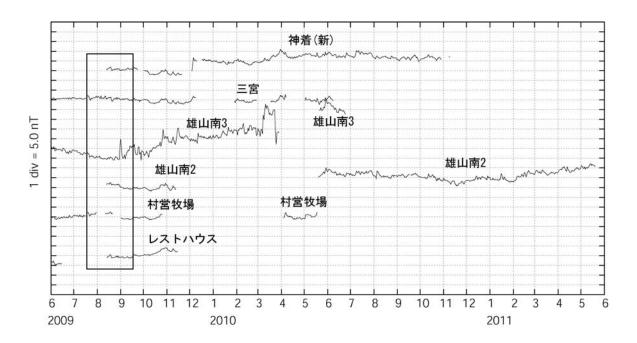


- 第1図 全磁力観測点配置図(●:気象庁、●:気象庁(観測終了)、):東大地震研究所)。 この図は、国土地理院発行の『地形図閲覧サービス(ウォッちず)』からカシミールで作成した。
- Fig.1 Locations map of geomagnetic total intensity observation stations. the JMA and ERI stations are marked by and ○, respectively, and the JMA discontinued stations are marked by ●.



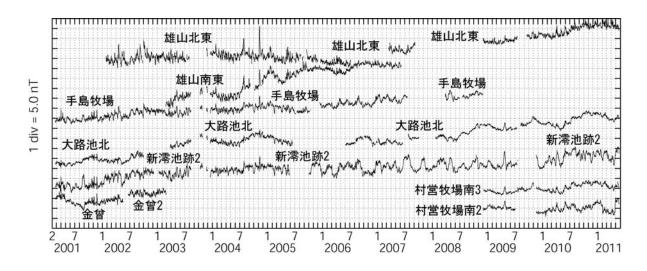
第2図 気象庁観測点の全磁力値と参照点の全磁力値の日平均差(2009年6月~2011年5月)。

Fig.2 Daily mean values of the geomagnetic total intensities of the JMA stations referred to the station Kozushima (from June 2009 to May 2011).



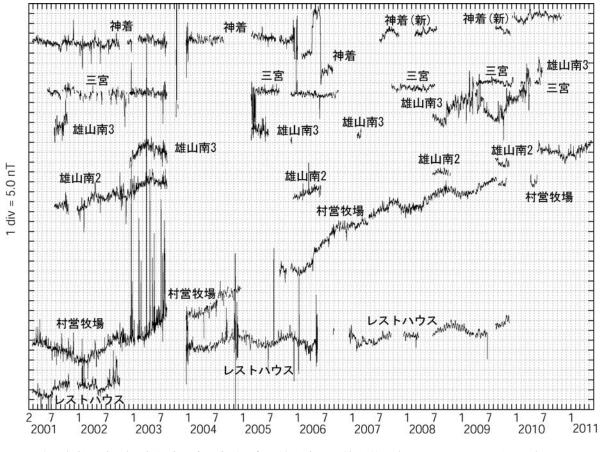
第3図 東京大学各観測点の全磁力値と参照点の全磁力値の日平均差(2009年6月~2011年5月)

Fig.3 Daily mean values of the geomagnetic total intensities of the ERI stations referred to the station Kozushima (from June 2009 to May 2011).



第4図 気象庁観測点の全磁力値と参照点の全磁力値の日平均差(2001年2月~2011年5月)

Fig.4 Daily mean values of the geomagnetic total intensities of the JMA stations referred to the station Kozushima (from February 2001 to May 2011).



第5図 東京大学地震研究所観測点の夜間全磁力変化(参照点との単純差) (2001年2月~2011年5月)

Fig.5 Daily mean values of the geomagnetic total intensities of the ERI stations referred to the station Kozushima (from February 2001 to May 2011).